

令和7年度 三重大学 工学部 総合工学科 電気電子工学コース  
学校推薦型選抜 推薦① 筆記試験問題

筆記試験（物 理）

令和6年11月23日 (土) 10:50 ~ 11:50

注 意

1. 問題は全部で2題（**[1]**, **[2]**）あります。全問題に答えなさい。
2. 解答用紙は1題につき1枚ずつ計2枚あります。  
各解答用紙の所定の欄に解答する問題番号を記入しなさい。  
なお、解答用紙の点線より上側に解答を書いてはいけません。
3. 解答用紙の表側だけで足りない場合は裏側も使用してよいが、  
点線より下側に解答を記入しなさい。  
解答用紙の裏側を使用する場合は表側にその旨記すこと。
4. 各解答用紙の所定の欄に受験番号を記入しなさい。
5. 問題冊子、解答用紙はすべて持ち出してはいけません。

# 1

図1に示すような水平となす角 $\theta$  ( $0 < \theta < \pi/2$ )の滑らかな斜面の上方から、質量 $m$ の小さな物体を静かに自由落下させたところ、物体は鉛直距離 $h$ を落下し、点Pにて斜面と衝突してはね返った。その後、物体は放物運動をして再び斜面上の点Qに衝突した。物体と斜面の間の反発係数（はねかえり係数）を $e$ 、重力加速度の大きさを $g$ とする。以下の間に答えなさい。

- (1) 点Pに衝突する直前の物体の速度の大きさを求めなさい。
- (2) 点Pに衝突した直後における物体の速度の斜面に平行な成分、垂直な成分の大きさをそれぞれ求めなさい。
- (3) 物体がPQ間を移動するのにかかった時間を求めなさい。
- (4) PQ間の距離を求めなさい。

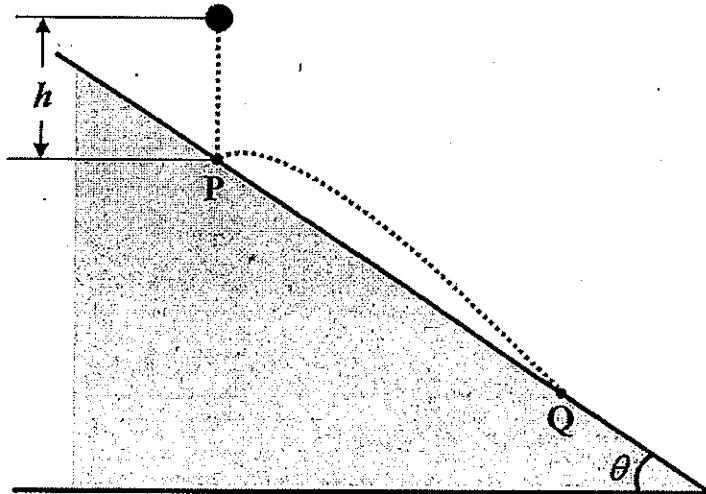


図1

# 2

図2に示すように、起電力  $E_0$  [V] の電池 E, それぞれ電気容量  $C$  [F],  $C$  [F],  $3C$  [F],  $5C$  [F] の極板間が空気である4つの平行板コンデンサー  $C_1, C_2, C_3, C_4$  と抵抗  $R_1$  およびスイッチ  $S_1, S_2$  で構成された回路がある。はじめ,  $S_1, S_2$  は開いており, コンデンサーに電荷はないとする。空気の比誘電率は1とし,  $R_1$  以外の電気抵抗は無視できるものとして, 以下の間に答えなさい。

まず,  $S_1$ だけを閉じて, 十分時間が経過した。

- (1)  $C_1, C_2, C_3$  の合成容量を求めなさい。
- (2)  $C_1, C_3$  に蓄えられた電気量  $Q_1$  [C],  $Q_3$  [C] と,  $C_1, C_3$  にかかる電圧  $V_1$  [V],  $V_3$  [V] を求めなさい。
- (3)  $C_1, C_2, C_3$  の静電エネルギーの和  $U$  [J] を求めなさい。
- (4)  $S_1$ を閉じてから  $R_1$  で発生したジュール熱  $W$  [J] を求めなさい。

次に,  $S_1$ を開き  $S_2$ を閉じて, 十分時間が経過した。

- (5)  $C_1, C_4$  にかかる電圧  $V'_1$  [V],  $V'_4$  [V] を求めなさい。また,  $C_1, C_4$  に蓄えられた電気量  $Q'_1$  [C],  $Q'_4$  [C] を求めなさい。

続いて,  $S_2$ を開き, 極板間隔  $d$  [m] である  $C_4$  に対して, 極板と同形で, 厚さ  $d/2$  [m], 比誘電率  $\varepsilon_r$  の誘電体を極板に対して平行に挿入して, 十分時間が経過した。

- (6) 誘電体挿入後の  $C_4$  の静電容量  $C'_4$  [F] を  $\varepsilon_r$  および  $C$  を用いて表しなさい。
- (7)  $C_4$  にかかる電圧  $V''_4$  [V] は  $V'_4$  [V] の何倍になるか答えなさい。

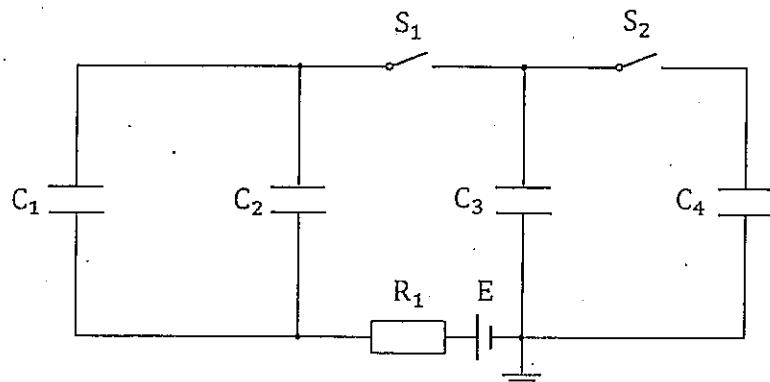


図2